

令和2年度 福井県立盲学校スクールプラン

◎教育目標

視覚に障害を有する幼児児童生徒の、調和のとれた人間形成に努め、社会の一員として主体的・積極的に生きる力を育む。

- 1 自立と社会参加を目指し、一人一人の能力の伸長を図る。
- 2 個に応じた支援、視覚障害教育の専門性に基づいた指導の在り方を組織的に研究し、実践する。
- 3 地域や関係機関との協働を進め、センター的機能の充実を図る。

学校業務改善のための取組

行事や会議を精選する。校内ネットワークを活用した情報の共有を通して、校務の効率化を図る。

人権教育の推進

幼児児童生徒の人権感覚を育むとともに、他者とのかかわりの中で人権意識の向上を図る。

重点目標

<p>1 教育課程・学習指導 (共通項目) 教務部</p> <p>個に応じた指導体制を整え、児童生徒に主体的な学びを促すとともに、他者とのかかわりの中で生きる力を育む教育的支援を行う。</p>	<p>2 生徒指導 (共通項目) 生徒指導部</p> <p>学校生活を通して、社会性の育成に努める。</p>	<p>3 進路指導 (共通項目) 進路指導部</p> <p>幼児児童生徒の自立と社会参加を目指し、関係機関と連携を深め、進路指導の充実を図る。</p>	<p>4 保健管理 (独自項目) 保健部</p> <p>幼児児童生徒の生命を守り、健康を維持するための安全で衛生的な環境づくりを目指す。</p>	<p>5 図書・研修 (独自項目) 図書・研究部</p> <p>視覚障がい教育の専門性を高め、指導内容と幼児児童生徒の障がいとニーズに応じた授業づくりのため、研究・研修を推進する。</p>	<p>6 教育相談 (独自項目) 教育相談部</p> <p>関係機関と連携し、地域の幼稚園・保育園・学校、視覚に障がいのある乳幼児児童生徒に対する支援センターとしての役割を充実させる。</p>	<p>7 寄宿舎 (独自項目) 舎務部</p> <p>集団生活の中で個性を大切にしながら、コミュニケーション能力を高め社会性を培う。</p>
---	---	--	---	---	---	---

<p>具体的取組</p> <p>a 教科会や学部会を充実させ、教師間の協力した指導により学習効果を高める。 目標:教科会や学部会等を活用し教職員同士で学び合い、授業力を高め合えた。 教員80%以上</p> <p>b 授業と家庭(学習)のサイクル化を図り、自ら学ぶ習慣を身に付けさせる。 目標:授業と家庭(学習)の連動を図った授業計画を立て、実施することができた。 教員80%以上</p> <p>c 他者とのかかわりを通し様々な体験や経験をすることで、生きた知識や技能を身に付ける。 目標:様々な体験や経験から社会性や知識・技能を身に付けることができた。 幼児児童生徒80%以上</p>	<p>具体的取組</p> <p>a いじめの未然防止や早期発見に努め、思いやりや助け合いの心をもって行動する幼児児童生徒を育てる。 目標:自他の大切さに気づき、思いやりや助け合いの心をもって行動できた。 幼児児童生徒70%以上。</p> <p>b 幼児児童生徒の協同的な活動や行事への積極的な参加を促し、豊かな人間関係を育む。 目標:集団での活動や行事に、協力し合って取り組むことができた。 幼児児童生徒70%以上。</p>	<p>具体的取組</p> <p>a 個々の進路目標を的確に把握し、ニーズに応じた情報収集と提供に努める。 目標:必要に応じて、適切な情報の提供が行われていた。 保護者及び生徒80%以上。</p> <p>b 関係機関と連携を図り、幼児児童生徒に必要な進路行事を計画的に実施する。 目標:関係機関と連携を図ったり、進路行事を的確に行ったりすることができた。 担任及び進路指導部員80%以上。</p>	<p>具体的取組</p> <p>a 安全点検や避難訓練を通して、安全の確保と防災意識の向上を図る。 目標:安全点検を確実に実施し、安全確保に努めることができた。 教職員100%。</p> <p>b 保健・給食目標を理解し、年間を通して健康的な生活ができるように指導する。 目標:感染症予防の為の対策(マスク、手洗い等)がしっかりとできた。 幼児児童生徒及び保護者100%。</p>	<p>具体的取組</p> <p>a 専門性チェックシートを活用して、視覚障がい教育における専門性の向上に努める。 目標:視覚障がい教育の専門性チェックシートを活用して、研修に生かすことができた。 教職員80%以上。</p> <p>b 専門研究部と連携を図り、視覚・情報支援機器等の活用に関する研修機会の確保と、情報提供に努める。 目標:視覚・情報支援機器に関する知識や技術を高め、学習に積極的に活用することができた。 児童生徒80%以上。</p>	<p>具体的取組</p> <p>a 子どもの視機能や発達の様子、ニーズを踏まえ、見え方や支援の方法について保護者や在籍校に的確に分かりやすく伝える。 目標:子どもの見え方や支援の方法など必要な情報を知ることができた。 関係機関職員及び関係保護者80%以上。</p> <p>b 視覚障がい教育への理解を図るため、校内や関係機関と連携し計画的に啓発活動に努める。 目標:専門性向上に努め、研修会や啓発活動の実施に向けて取り組むことができた。 教育相談部員100%。</p>	<p>具体的取組</p> <p>a 交流の機会を増やし、協調性やコミュニケーション能力を育てる。 目標:思いやりや助け合いの心をもって、舎内活動ができた。 舎生70%以上。</p> <p>b 一人一人の課題に応じて、基本的な生活習慣の習得を目指した支援を行う。 目標:職員間で一人一人の課題に対する情報の共有を図ることで、よりよい支援ができた。 寄宿舎指導員80%以上。</p>
---	---	--	---	--	---	--